

Europe Indicators

発表日:2020年9月16日(水)

欧州経済指標コメント:9月英国労働統計

～労働力調査ベースの失業率も上昇へ～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
 主席エコノミスト 田中 理 (TEL:03-5221-4527)

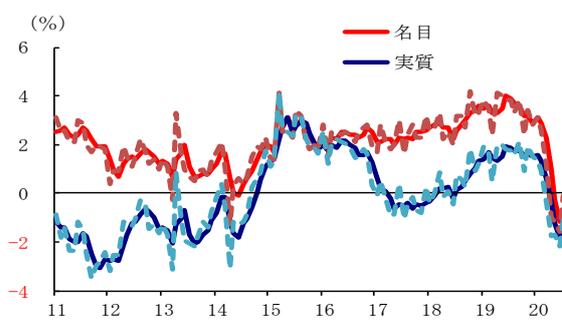
- 15日に発表された労働力調査ベースの英国の失業率は、7月から遡って3ヶ月の移動平均値で4.1%とコロナ危機後で初めて上昇した（前月までの4ヵ月間は3.9%で横這い推移）。新たに計算に加わった7月値は4.37%と同一サンプルの4月値（3.90%）から一気に上昇。参考系列として発表されている週次の失業率は、7月第4週に4.8%に上昇している。8月値が4.8%となれば、来月の失業率（6～8月平均）は4.3%に上昇する。
- 速報性の高い失業給付ベースの失業率は8月に7.6%に一段と上昇（7月は7.4%）。コロナ危機以前の3%台前半から倍増しているが、失業給付の対象拡大により、同計数は失業者の増加を過大評価している可能性がある。より正確に雇用の実態を反映する源泉徴収データ（PAYE）に基づく雇用者数は8月に3.6万人減少し、3月からの累計で69.5万人減少している。これまで失業抑制に寄与してきた一時休業支援は、8月から企業の社会保障負担が増加、9～10月は政府の賃金補填額が減少し、10月末で打ち切られる。失業率には一段の上昇圧力が及ぶことになろう。
- 全産業の時間当たり賃金（賞与を含む）は、7月から遡って3ヶ月の移動平均で前年比▲1.0%と前月（同▲1.2%）から下落率がやや縮小した。賞与が同▲21.4%と前月（同▲20.2%）をやや上回る大幅な落ち込みとなった一方、賞与を除く賃金が同+0.2%と現行統計開始以来のマイナスとなった前月（同▲0.2%）からやや持ち直したことが全体計数を底上げした。

■英国：失業率



注：労働力調査基準は3ヶ月移動平均 出所：英国統計局

■英国：週当たり賃金・賞与（全産業、前年比）



注：実線は3ヶ月移動平均値 出所：英国統計局

■英国の失業給付・平均賃金

	2019			2020									
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
失業率（失業給付、%）	3.3	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.5	5.8	7.4	7.2	7.4	7.6
失業給付件数（前月差、千人）	13.5	26.4	15.0	2.6	-0.2	5.9	5.4	858	565	-69	70	74	
失業率（労働力調査、%）	3.8	3.8	3.8	3.8	3.9	4.0	3.9	3.9	3.9	3.9	4.1	-	
（単月の失業率、%）	4.02	3.53	3.86	3.93	3.96	3.96	3.83	3.90	4.04	3.78	4.37	-	
就業者数（前月差、千人）	-58	24	208	181	184	172	210	6	-125	-220	-12	-	
週当たり賃金（産業計、前年比、%）	3.6	3.2	3.2	2.9	3.1	2.9	2.3	1.0	-0.3	-1.2	-1.0	-	
賃金	3.6	3.5	3.3	3.2	3.1	2.9	2.7	1.7	0.7	-0.2	0.2	-	
ボーナス	4.2	-4.0	-1.3	-5.1	3.5	0.8	0.5	-7.0	-13.3	-20.2	-21.4	-	

注：労働力調査基準の失業率、就業者数、週当たり賃金は当月で終わる3ヶ月移動平均 出所：英国統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

